

3

一、つぎの文の——を引いてあることは、反たいの意味をあらわすことばを——の中から一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

川の水がます。↑川の水が

ア へる  
イ おおいる  
ウ おおいる  
エ ながれる

□

二、つぎの上のことばと意味のよく似たことばを□の中から一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

父 母

ア 父親 イ 両親 ウ 家族  
エ 母親 オ 親せき

□

三、つぎの文の——を引いてあることは、もつともちかい意味のことばを——の中から一つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

一 スポンが長すぎるので、すそをつめてもらった。

ア ぎつしりおしこんで  
イ なおして  
ウ みじかくして  
エ ぐあいよくして

□

- 4 -

4

一、つぎのことばと、もつともつぎのよいことばを——の中から一つずつえらび、その記号を□の中に書きなさい。

一 念をおして

ア なんでもしっぱいた。  
イ なんでもがんばった。  
ウ なんでもたしかめた。  
エ なんでもたらあがった。

□

二 朝日が

ア ほのほの  
イ ひどきわ  
ウ ほんのり  
エ ほのかに

つよく照りががやいていました。

□

- 6 -

二 母は、やぶれたポケットをつくらせてくれた。

ア つくって  
イ 新しくして  
エ つかって

□

四、つぎのことばを(例)にならって、もとの二つのことばに分けなさい。

(例) とりこむ (こむ) + (こむ)

一 つかいこなす ( ) ( ) + ( ) ( )

二 あまぐつ ( ) ( ) + ( ) ( )

□

五、つぎのことばを、手という字を、人という意味につかっているものを、□の中から二つえらび、その記号を□の中に書きなさい。

ア 行く手 イ 聞き手 ウ 投手 エ 取っ手

□

- 5 -

二、つぎの文の——の部分(例)にならって、なおしなさい。

一 先生が、「早くやらないと、言いました。」

二 お客さんが、教室にきました。

なさいましたか

□

三 わたしは、

ア 栄養がたりないので  
イ 元気がよくないので  
ウ せきにんをはたさないで  
エ 運動がたりないので

心苦しい。

□

四 わたしは、さいごの一つまで

ア 食べあきてしまった。  
イ 食べのこしてしまった。  
ウ 食べつくしてしまった。  
エ 食べあいてしまった。

□

- 7 -